

8 訓練内容

(1) 訓練項目

訓練項目 (要素訓練)	訓練実施日	
	意思決定訓練 2月6日 (木)	実動訓練 2月13日 (木)
①災害対策本部等設置運営訓練	○	—
②緊急事態応急対策等拠点施設 (OFC) 運営訓練	○	—
③緊急時通信連絡訓練	○	—
④緊急時環境放射線モニタリング訓練	EMCの設置・運営	○
	空間放射線量率の測定等	—
⑤広報訓練 (住民に対する広報活動)	—	○
⑥住民避難訓練	—	○
⑦原子力災害医療活動訓練	—	○
⑧物資等緊急輸送訓練	—	○

(2) 重点活動項目

次に掲げる事項を重点活動項目として、災害対策本部の設置運営訓練及び住民避難訓練などの要素訓練を組み合わせた総合訓練を実施した。

<重点活動項目>

- ◆緊急事態応急対策等拠点施設 (OFC) 運営訓練
 - ・各機能班を設置し、事故の状況や防災関係機関の対応状況の収集・整理
 - ・スクリーン表示するなど各機能班相互の情報共有
 - ・厳冬期における避難に係る防災関係機関との対応の調整
- ◆住民避難訓練
 - ・バス避難のための集合場所の開設
 - ・避難受入先自治体の協力による一時滞在場所の設置・運営
 - ・多様な手段による孤立集落の避難
- ◆緊急時環境放射線モニタリング訓練
 - ・EMCを拠点としたモニタリングの統括、関係機関との連携
 - ・緊急時モニタリング実施内容の検討 (実施計画案の修正)、指示及び情報伝達
- ◆原子力災害医療活動訓練
 - ・安定ヨウ素剤の緊急配布
 - ・避難先域時検査場所の開設と運営

(3) 各要素訓練

訓練項目ごとに主要活動項目を設定し、その活動に必要な対応動作や手順の確認を行った。

【意思決定訓練：2月6日（木）】

ア 災害対策本部等設置運営訓練

道及び関係13町村は、災害対策本部を設置し、事態の推移に応じて本部員会議やTV会議を開催し、本部内や防災関係機関と情報共有を図った。

機 関	主 要 活 動 項 目
北 海 道 北海道教育委員会 北海道警察本部	<p><本庁></p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>道災害対策本部の設置・運営（指揮室） <input type="checkbox"/>道本部員会議の開催（3階テレビ会議室） <input type="checkbox"/>TV会議【道庁-OFC-関係13町村】による情報共有と対策の確認 <input type="checkbox"/>住民避難用バスの手配等に係る連絡調整 <p><OFC></p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>道現地災害対策本部を設置・運営 <input type="checkbox"/>住民避難用バスの手配等に係る連絡調整
関 係 1 3 町 村	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>各町村災害対策本部の設置・運営 <input type="checkbox"/>TV会議【道庁-OFC-関係13町村】による情報共有と対策の確認 <input type="checkbox"/>住民避難用バスの手配等に係る連絡調整
原 子 力 事 業 者	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>本店及び泊発電所にて原子力災害対策本部の設置・運営

<道災害対策本部員会議（OFC等とTV会議）>



<原子力事業者による事故状況の説明>



<道指揮室での原子力災害状況の共有>



<道現地本部での活動>



イ 緊急事態応急対策等拠点施設（OFC）運営訓練〔内閣府（原子力防災）共催〕

OFCに、国、道、関係13町村及び防災関係機関から、あらかじめ定められた要員が参集し、体制を構築して、事故の状況や防災関係機関の対応状況を把握しながら、必要な情報共有と厳冬期における防護措置の実施方針の調整・確認を行った（ブラインド方式）。

機 関	主 要 活 動 項 目
内 閣 府 原 子 力 規 制 庁 泊原子力規制事務所 北 海 道 関 係 1 3 町 村 防 災 関 係 機 関 原 子 力 事 業 者	<input type="checkbox"/> 各機能班を設置し、事故の状況や防災関係機関の対応状況を収集・整理 <input type="checkbox"/> スクリーン表示するなど各機能班相互の情報共有 <input type="checkbox"/> 厳冬期における避難に係る防災関係機関との対応の調整 <input type="checkbox"/> 防護措置の実施方針（案）の作成・取りまとめ <input type="checkbox"/> 原子力災害合同対策協議会の開催 <input type="checkbox"/> TV会議〔道庁－OFC－関係13町村〕による情報共有と対策の確認 <input type="checkbox"/> ドローン・道路カメラからの映像伝送による情報収集 <input type="checkbox"/> OFC広報班によるプレス発表

＜原子力緊急事態宣言＞



＜班長会議による対応方針の調整・協議＞



＜機能班間の情報共有・協議＞



＜OFCスクリーンを活用した情報共有＞



＜原子力災害合同対策協議会＞



＜住民安全班の活動＞



＜記者会見の実施＞



＜ドローンを用いた情報収集＞



＜副町長等との協議＞



＜実動組織との連携＞



＜OFC出入管理の実施＞



＜道路カメラを用いた情報収集＞

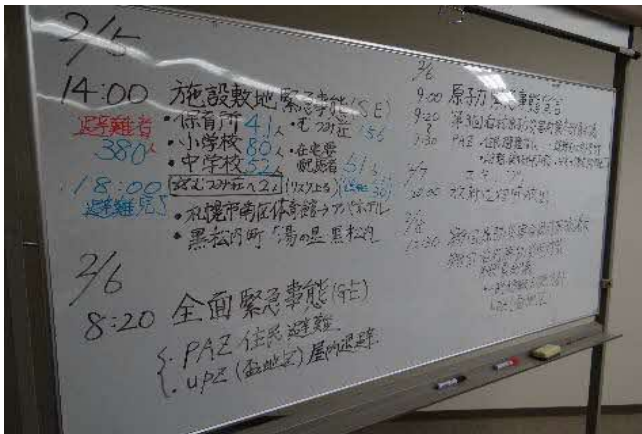


ウ 緊急時通信連絡訓練

各種通信手段を用いた事故状況や対応状況等に関する防災関係機関相互の通報連絡及び関係機関への情報伝達を実施した。

機 関	主 要 活 動 項 目
全 機 関	<input type="checkbox"/> 電話及びFAX（一般回線や専用回線）、防災行政無線を用いた防災関係機関相互の通報連絡 <input type="checkbox"/> 避難先自治体等への事故状況の伝達や避難受入要請

<情報伝達内容の整理（泊村）>



<情報伝達内容の整理（共和町）>



エ 緊急時環境放射線モニタリング訓練

OFC内に緊急時モニタリングセンター（EMC）を設置し、国、道、関係13町村、原子力事業者、関係指定公共機関と連携して、緊急時における環境放射線のモニタリング活動を行った。

機 関	主 要 活 動 項 目
原 子 力 規 制 庁	<input type="checkbox"/> EMCを拠点としたモニタリングの統括、関係機関との連携
北 海 道	<input type="checkbox"/> 緊急時モニタリング実施内容の検討（実施計画案の修正）、指示及び情報伝達
関 係 1 3 町 村	<input type="checkbox"/> 緊急時モニタリング情報共有システム等によるモニタリング情報の収集、整理、確認及び報告
原 子 力 事 業 者	
指 定 公 共 機 関	<input type="checkbox"/> OFC放射線班等への緊急時モニタリング結果の提供及び情報共有

<EMCの活動>



<放射線班との連携>



【実動訓練：2月13日（木）】

ア 緊急時環境放射線モニタリング訓練

緊急時モニタリング実施計画に基づき、空間放射線量率データの収集・整理や環境試料の採取・分析等の緊急時モニタリング活動を行った。

機 関	主 要 活 動 項 目
原子力規制庁 北 海 道 関 係 1 3 町 村 原 子 力 事 業 者 指 定 公 共 機 関	<input type="checkbox"/> 緊急時モニタリング実施計画に基づく空間放射線量率の測定、環境試料の採取・分析 <input type="checkbox"/> 緊急時モニタリング結果の整理 <input type="checkbox"/> 緊急時モニタリング要員等の汚染検査

＜環境試料の前処理＞



＜可搬型モニタリングポストの設置＞



＜要員の汚染検査＞



イ 広報訓練

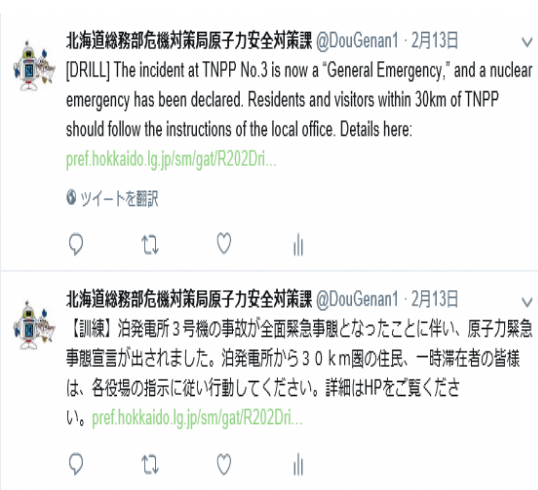
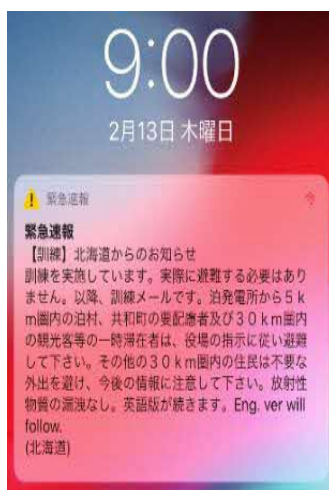
関係13町村の住民等に対し、防災行政無線や広報車等による広報のほか、緊急速報メールなど多様な手段を活用した広報を実施した。

機 関	主 要 活 動 項 目
北 海 道 関 係 1 3 町 村 防 災 関 係 機 関	<input type="checkbox"/> 防災行政無線や広報車などによる住民広報 <input type="checkbox"/> 電話及びFAX（一般回線）等を用い、関係13町村の要配慮者施設（学校・医療機関・社会福祉施設等）や宿泊施設に対する情報伝達 <input type="checkbox"/> 緊急速報メールを活用し、多言語による避難指示等を配信 <input type="checkbox"/> 道ホームページ・Twitterを利用した多言語による情報発信

＜広報車による広報＞



＜緊急速報メールやTwitterを活用した避難指示等の配信＞



ウ 住民避難訓練

EAL、OILの判断基準を基本として、厳冬期における避難等に関し防災関係機関と連携しながら、各町村の避難計画に基づき、住民等の安全確保を優先して屋内避難や避難等の防護措置を段階的に実施した。

機 関	主 要 活 動 項 目
北海道 関係13町村 防災関係機関	<input type="checkbox"/> バス避難のための集合場所の開設（レイアウト図の掲示） <input type="checkbox"/> バス等を利用した避難（避難経路上に休憩施設の開設） <input type="checkbox"/> 小中学校、高等学校などによる屋内退避・避難 <input type="checkbox"/> 要配慮者（社会福祉施設入所者など）の屋内退避・避難 <input type="checkbox"/> 放射線防護施設における設備稼働・出入管理、在宅要配慮者の屋内退避 <input type="checkbox"/> 避難受入自治体の協力による一時滞在場所の設置・運営 （札幌市、小樽市、留寿都村） <input type="checkbox"/> 大雪により孤立した要配慮者の救助（泊村） <input type="checkbox"/> 雪上車を用いた孤立地域からの救出（古平町） <input type="checkbox"/> 避難経路確保等のための道路啓開（防護対策を行った除雪事業者による除雪車の実動） <input type="checkbox"/> 渋滞予測箇所等における警察官による交通整理 <input type="checkbox"/> ドローンを活用した避難経路等の情報収集 <input type="checkbox"/> バス運転手等民間事業者の放射線防護対策・専用アプリを活用した 車輛動態管理及び情報伝達

●参加住民数 10,557人（避難598人、屋内退避9,959人）

【避難指示区域】

※（ ）内は屋内退避者

区分	町村名	避難者数		避難方法
PAZ UPZ	泊村	145	(85)	バス7台、福祉車両1台、普通車両1台
	共和町 (PAZのみ)	73	(470)	バス3台、福祉車両1台、普通車両4台
UPZ	神恵内村	21	(231)	バス1台、普通車両1台
	積丹町	125	(210)	バス2台、普通車両1台
	古平町	35	(393)	バス2台、雪上車1台
	余市町	157	(1,729)	バス4台、普通車両2台
合 計		556	(3,118)	バス19台、福祉車両2台、普通車両9台、 雪上車1台

【その他区域】

町村名	避難者数		避難方法
UPZ町村合計	42	(6,841)	岩内町、倶知安町は独自訓練として避難等を実施 (バス1台)

＜バスを利用した避難＞



古平町

＜社会福祉施設入所者の避難＞



湯の里・黒松内

＜在宅要配慮者の防護施設への屋内退避＞



共和町保健福祉センター

＜幼児の避難＞



はまなす幼児センター

＜一時滞在場所の設置運営＞



小樽建設管理陪共和出張所

＜孤立住宅からの救助＞



泊村大字茅沼村（一般住宅）

＜自衛隊雪上車による避難＞



古平福祉会共働の家

＜除雪車両運転手の放射線防護対策＞



小樽建設管理陪共和出張所

＜臨時ヘリポート開設のための除雪＞



余市農道離着陸場（アップルポート余市）

＜誘導看板等による交通広報＞



国富交差点（共和町）

＜ドローンを用いた情報収集＞



中央水産試験場

＜専用アプリを活用した車両動態管理及び情報伝達＞



中央水産試験場

工 原子力災害医療活動訓練

関係医療機関等と連携して原子力災害時における医療活動を行った。

機 関	主 要 活 動 項 目
北 海 道 関 係 町 村 関 係 医 療 機 関 防 災 関 係 機 関 原 子 力 事 業 者	<input type="checkbox"/> 安定ヨウ素剤の緊急配布 <input type="checkbox"/> 避難退域時検査場所を開設し、避難車両や避難住民の検査、簡易除染（中央水産試験場、小樽塩谷IC） <input type="checkbox"/> 医療機関への患者搬送（発電所内被ばく傷病者）と受入施設での医療措置

<安定ヨウ素剤の戸別配布>

Blocked

共和町宮丘地区

<安定ヨウ素剤の緊急配布>



避難バス車内（余市町下水道管理センター）

<避難車両の検査（ゲート型モニタ）>



中央水産試験場

<避難車両の検査（サーベイメータ）>



小樽塩谷IC

<避難車両の除染>



中央水産試験場

<避難車両の除染>



小樽塩谷IC

<避難住民の検査>



中央水産試験場

<避難住民の除染>



中央水産試験場

<原子力災害医療協力機関での受入>



岩内協会病院

<原子力災害拠点病院への搬送・医療処置>



岩内町新港東埠頭（ヘリ搬送）



北海道大学病院

オ 物資等緊急輸送及び電力供給訓練

一時移轉指示区域で屋内退避を継続している住民を支援するため、必要な飲食物等の生活必需物資の緊急輸送等を実施した。

機 関	主 要 活 動 項 目
北 海 道 関 係 町 村 防 災 関 係 機 関 原 子 力 事 業 者	<input type="checkbox"/> 物資・燃料の緊急輸送 <input type="checkbox"/> 輸送を担う民間事業者の防護対策 <input type="checkbox"/> 発電機車による電力供給

<屋内退避施設への物資緊急輸送>



神恵内村漁村センター

<放射線防護施設への燃料の輸送>



余市豊兵学園

<車両中継ポイントでの説明・防護資機材の配布>



中央水産試験場

<車両中継ポイントでの防護資機材の回収>



中央水産試験場

<停電地域への緊急的な電力供給>



神恵内村漁村センター

カ その他

(事故拡大防止訓練)

厳冬期における泊発電所の事故時に備え、雪上でも走行可能なクローラー車による発電所の要員参集訓練を行った。

(地域学習会)

原子力防災対策に係る知識の普及啓発を図るため、避難バスの車内における原子力災害対策に関する説明や避難先施設等において、原子力防災に関する住民研修会を開催した。

<クローラー車による参集>



北海道電力(株) 泊発電所

<泊村の住民学習会>



パ°村&リポート(札幌)